

**経済産業省および日本健康会議主催
「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、経済産業省および日本健康会議が主催する「健康経営優良法人～ホワイト500～」の認定を受けました。

当社は、従業員の健康づくりに積極的に関与し、健康増進の取組みをいっそう推進していきます。

1. 「健康経営優良法人～ホワイト500～」認定の概要

経済産業省が、日本健康会議と共同で、上場企業に限らず保険者と連携して優良な健康経営を実践している大規模法人を顕彰するために、今年度より開始した認定制度

2. 当社の健康増進に向けた取組み

当社では、健康保険組合や明治安田生命労働組合との連携のもと、従業員の健康増進に向け、健康イベントの開催、ICTを活用した健康増進の取組み、生活習慣病予防のための集合型保健指導等のフィジカル面での施策を推進するとともに、メンタル面での施策も充実させています。今回の認定は、健康増進に向けた取組みのうち「組織体制の構築」や「病気のリスクが高い従業員向けの施策」等が評価されたものと考えています。

◆健康イベントの開催【2011年度開始】

- ・従業員の運動習慣を促すなどの健康指導をするため、全国の各支社に専門講師を派遣し、ストレッチやヨガなどの「運動教室」「健康セミナー」を開催
- ・ウォーキングや食事習慣などの健康的な生活習慣を推進する「健康NEXTチャレンジ！キャンペーン」を毎年実施。明治安田生命労働組合も参画し、参加者は2万人を超える規模まで拡大

◆ICTを活用した健康増進の取組み【2016年度開始】

- ・株式会社F i N C（以下F i N C）と協働で生活習慣改善に向けた研究を開始し、「健康NEXTチャレンジ！キャンペーン」に参加する従業員の一部を対象に、心拍数や睡眠時間が計測可能なウェアラブル端末を配布するとともに、F i N Cの生活習慣改善プログラム（スマートフォンアプリ）を提供

◆生活習慣病予防のための集合型保健指導【2015年度開始】

- ・「糖尿病」リスクが高い従業員が参加する「集合型保健指導プログラム」を実施。プログラムを通じた「糖尿病」が重症化した場合の身体への影響に関する講義や、管理栄養士による食事指導、運動習慣改善指導を実施。昨年度「糖尿病」の診断基準となる「H b A 1 c（ヘモグロビン・エイワンシー）」の参加者平均が、6.8%から6.6%に下がる効果を確認

◆メンタルヘルスへの取組み【2010年度開始（ストレスチェック）】

- ・ストレスチェック結果に基づく組織分析を行ない、ストレス度合いが高いと判断された職場に対して、研修を通じて職場環境の改善に取り組むとともに、従業員への職場環境調査を通じて改善状況を確認するP D C Aを展開